

## ●全国高等専修学校協会 教職員研修会

8月2日、東京都・アルカディア市ヶ谷を会場として、全国高等専修学校協会の「平成25年度教職員研修会」が22名の参加者を得て開催された。

清水信一会長、岡部隆男研修委員長が開会あいさつを述べ、「発達障がいのある方への導き及びその就労の実態～本校の進路指導と一般的な進路指導～」をテーマに、武蔵野東技能高等専修学校の今城慎一郎自閉児進路アドバイザーが講演。発達障がいとは、本校の進路指導と一般的な進路指導との相違点。本校のサポート体制＝企業就労と福祉就労でサポート体制は異なる。就労支援＝就労支援センター、就労移行支援事業。「障害児とは一生のつきあい」であり、出口指導・定着指導、が重要であるとまとめを述べた。また実際の卒業生の企業での就労状況も映像で紹介された。

続いて、「ペップトーク 元気・活気・勇気を与えるトーク術」をテーマに、岩崎由純日本ペップトーク普及協会会長が講演。ペップトークとは、スポーツ選手を励ますのに指導者が試合前に使う「短い激励のメッセージ」のこと。「短くて」「わかりやすく」「肯定的な」「魂を揺さぶる」「人を勇気づける」言葉がけという特徴があり、自分が普段使っている言葉に気づき、意識的に、言葉づかいをポジティブに変えてゆく重要性を強調された。